

2018年日本経済の展望

三菱UFJモルガン・スタンレー証券景気循環研究所長

嶋中雄二

- *世界同時好況だった2017年
- *米国は減税、日本は増税
- *急拡大する中国の購買意欲
- *経済を活性化させた黒田日銀緩和
- *景気拡大はイザナミ景気を超える
- *デフレ脱却宣言の時期はいつか
- *インフレ目標2%達成の現実味
- *景気のピークアウトは2019年9月か
- *観光関連産業は自動車、電機を凌駕
- *ゴールデン・サイクルから分かること



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

早いもので、今日は今年最後の講演会ということでございまして、今さらご紹介の必要もないかと思いますが、今年も年末の最後は、嶋中先生に縮めていただくということになりました。足元の状況、来年の日本経済の見通し、それから、今日はその先についてもお話をいただけるということでございます。それなりに景気は悪くないわけですが、不安材料をいろいろ抱えておりますので、皆さんには、そういったこともご興味があるかと思えます。

嶋中先生のお話は、毎年、明るい見通しで終わりますので、今年もどうかということですが、先ほどちょっと伺いましたら「来年は、いい」と。しかし、再来年はどうかというところを

今日は十分お聞きいただければはいよろしいかと思えます。

それでは、嶋中先生、よろしく願います。（拍手）

世界同時好況だった2017年

嶋中 ただいまご紹介に預かりました三菱UFJモルガン・スタンレー証券の嶋中でございます。今年もトリを務めさせていただくということで、たいへんありがたいことでございます。このような光栄な大役を仰せつかりますのも、昨年行ったいざなぎ景気を超えるとの景気予測がよかったのではないかなというふうに思っております。

もつともその判定はまだされておられません、